# 心房細動カテーテルアブレーション前後の左房 strain 変化の前向き検討について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
左房 strain は①reservoir②conduit③contractile(booster)の 3 要素から構成されており、左房機能の指標となります。しかしカテーテルアブレーション後の左房 strain の変化に関しては報告が乏しく、術前-術後 4 か月後の 1 点で左房 reservoir strain のみの変化を検討したものが 1 報あるのみです。本研究の目的は，心房細動カテーテルアブレーション前後の心房 strain(Reservoir, Conduit, Contractile)の経時的変化を前向きに検討することです。

【対象】
持続性心房細動に対して初回カテーテルアブレーションを施行予定の患者さん。除外基準は開心術の既往、カテーテルアブレーションが施行困難なうっ血性心不全、20 歳未満や妊娠の可能性のある患者さん、その他主治医が不適当と考える患者さん。

【調査項目】
・主要評価項目
左房 strain(Reservoir, Conduit, Contractile)の術前，術翌日，術後 1,3,6 か月後の変化
・副次評価項目
①血液検査にて採取した ANP, BNP, NT-ProBNP, クレアチニン，ヘモグロビンの術前，術後 1,3,6 か月後の変化
②経胸壁心臓超音波検査にて計測された左房容積，左房径，左室拡張末期径，左室収縮末期径，左室拡張末期容積，左室収縮末期容積，左室駆出率，left atrial emptying fraction, E/e’，僧帽弁逆流の術前，術翌日，術後 1,3,6 か月後の変化
③収縮期血圧，拡張期血圧の術前，術当日，術翌日，術後 1,3,6 か月後の変化
④カンザスシティ心筋症質問票(KCCQ)による心不全症状・QOL の術前，術後 6 か月後の変化

⑤6 分間歩行による運動耐容能の術前，術後 6 か月後の変化
⑥カテーテルアブレーション術中の心内圧（右房圧、左房圧等）の測定
⑦カテーテルアブレーション術中にマッピングする左房低電位領域の面積

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】
承認日から 2025 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究代表者】
松田　祥宏
関西労災病院　循環器内科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）

【当院の研究責任者】
松田　祥宏
関西労災病院　循環器内科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）